

2016 年度事業計画

自 2016 年 4 月 1 日
至 2017 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人エファジャパン

東京都千代田区九段南 3 - 2 - 2 九段宝生ビル 3 階

2016 年度海外事業計画

1. ベトナム

児童ソーシャルワークセンター支援

ハイフォン市ソーシャルワークセンターの活動を支援。ハイフォン市の 3 つの地域(ギアサー町、ドンケー町、タンズオン村)で子どもの権利啓発活動、困難な子ども達を対象とした文化活動や中秋月の祝賀イベントを実施。その他、ソーシャルワークセンターの職員に障がい児の早期発見・介入方法に関する研修の実施、エファとソーシャルワークセンターが支援している地域の困難な子ども達や障がい教室の障がい児達に活動ユニフォームを寄贈。

アジア子どもの家奨学金基金

自治労栃木県本部支援の奨学金事業で、困難な状況にある子ども達 66 名に 1 人当たり 90 万ドン（約 4,500 円）の奨学金と 10 万ドン（約 500 円）のギフトを支給。90 万ドンで購入できる文房具は、ノート 50 冊(350,000VND)、ボールペン 30 本(120,000VND)、消しゴム 3 個(18,000VND)、色鉛筆 3 ダース(270,000VND)、三角定規 1 セット(27,000VND)、はさみ 1 丁(50,000VND)、糊 5 本(35,000VND)、セロテープ 5 本(30,000VND)。或は、子どもの食費約 3 週間分。

障がい児支援

連合愛のカンパによる支援で、ハイフォン市の 3 つの地域(ドンクオックビン地区、ティエンラン町、タンフォン村)の障がい児教室で活動用具の寄贈や担当職員の給与補填、子どもの日や中秋月のイベント、障がい児啓発のための講習を実施。

自治労岡山県本部の支援で、ハイフォン市農村部に位置するフンティエン村障がい児教室の活動支援を継続。活動用具や担当職員の給与補填を支援。

自治労鳥取県本部がハイフォン市農村部に位置するタンフン村障がい児教室の活動支援を開始。

書き損じハガキによる支援で、ハイフォン市の障がい児施設に機材を寄贈。

2. ラオス

ヴィエンチャン市立図書館支援

自治労東海地区連絡協議会（東海地連）の支援により、引き続き図書館の運営費を支援。

12 月上旬に開館 10 周年記念式典を開催予定。

10 年間の評価を実施。

ラオス図書館協会支援

エファの自己資金によるラオス図書館協会の活動支援を継続。協会機関誌の発行、新書の出版、国立図書館による読書推進活動、国際会議参加の旅費、スタッフの人件費の補填などを支援。

コミュニティ図書館・図書室への支援

自治労静岡県本部の支援で建設されたノンセンチャン村コミュニティ図書館の図書館改修や本、文房具の寄贈を当県本部の継続支援で実施。

自治労新潟県本部の支援で建設されたタトーン村コミュニティ図書館の図書館改修や本、文房具の寄贈、隣村での読書推進活動を当県本部の継続支援で実施。

自治労青森県本部の支援により建設されたドンクワイ村図書館への本の寄贈を当県本部の継続支援で実施。

日本国際協力財団の助成金で、フアパン県教育局と図書室運営・管理の規定を策定し、フアパン県の小学校 5 校にモデル図書室を設置。

3. カンボジア

子どもの家（国立幼稚園教員養成学校）支援

10 月から訓練生 25 名に月 25 ドルの奨学金を 10 カ月間支給する。

退職された保育士で元自治労組合員の荒川智子氏のボランティア活動を資金援助する。

就学前教室運営支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

自治労福岡県本部と鹿児島県労働者福祉協議会の支援で、カンダール県の就学前教室の運営支援を継続する。

終了したプノンペン市内センソク寺子屋教室のフォローアップ

SCADP 保護施設出身大学生コミュニティワーカーの給与補助を通じて支援する。

国境地帯の寺子屋教室支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

自治労兵庫県本部の支援で、プレアビヒア県のタイとの国境地帯にある寺子屋教室に学用品を配布する。

国境地帯の非公式初等教育パイロット事業

自治労九州地区連絡協議会（九州地連）とフェリシモ地球村の基金の支援で、プレアビヒア県の国境地帯にある寺子屋 1 教室で非公式に初等教育の全課程を修了させるパイロット事業を継続する。

SCADP プノンペン児童保護施設支援

自治労熊本県本部と鹿児島県労働者福祉協議会の支援で、保護児童の生活改善を継続する。

SCADP プレアビヒア児童保護施設支援

自治労沖縄県本部の支援で、保護児童の生活改善を継続する。

SCADP 支援

SCADP プノンペン児童保護施設出身の大学生 2 名への奨学金を継続する（今年度終了）。

4. 緊急援助

災害・紛争などの緊急事態には、事業国以外でも可能な限り対応する。

5. その他

新事務局長を迎えるにあたって、今後の中長期事業計画を策定する。その中で、事業の整理や新規事業国への展開も検討する。

故森田昭様（元都職労副中央執行委員長、元港区職員退職者会参与）のご遺志によりいただいた 1 千万円のご寄付は、今年度中に使途を決め、事業を開始する。

以上

2016 年度国内事業計画

1. 組織拡大

- ・会員・エファパートナーの加入拡大や継続維持のために、会員拡大キャンペーン月間を設定し、自治労県本部や単位組合への働きかけを行なっていく。
- ・また、労働者福祉協議会など自治労以外の組織への働きかけも行なっていく。

2. 書き損じハガキ収集

- ・前年度に引き続き、書き損じハガキの収集活動を積極的に展開し、ポスターの配布等を通して自治労県本部・単組へ協力を呼びかける。
- ・協力いただける県本部・単組にハガキ回収箱を配布し、設置・回収をお願いする。

3. 集会・イベント

- ・自治労定期大会(8月)にブースを出展し、パネル展示による活動紹介やグッズ販売等を行なう。
- ・組合、他団体主催の集会・イベントへの展示パネルの貸出しを行なう。

4. 学習会

- ・主に自治労組合員を対象に、子どもの権利に関連した学習会を実施する。

5. エファグッズ

- ・前年度に引き続き、支援国の団体が職業訓練・収入向上支援の一環で製作した下記グッズをホームページや自治労定期大会等で販売する。
 - ・ベトナム：センター・オブ・トゥモロー（巾着）【新規】
 - ・ラオス：フレンズ・インターナショナル（キーホルダー）
 - ・カンボジア：ワットタン・アーティザン・カンボジア、クラバンハウス（シルク・コットン雑貨）

6. ネットワーキング

- ・エファジャパンの理念に合致する社会的ネットワークに参加し、他 NGO 団体、労組等との連携強化をはかる。但し、今後必要に応じて下記加入ネットワークの整理を検討する。
 - ・国際協力 NGO センター（JANIC）（正会員）
 - ・児童労働ネットワーク（CL-Net）（団体正会員）
 - ・子どもすこやかサポートネット（団体正会員）
 - ・NGO 労働組合同国際協働フォーラム（会員団体）
 - ・東南アジアの障害児に車椅子を贈る会（賛助会員）

7. 認定NPO法人取得関連

- ・前年度に引き続き、認定取得に向けた準備を進めるとともに、認定取得後の事務局体制を整える。

以上

2016 年度広報事業・その他計画

1. 広報活動

(1) 2015 年度から継続（実施内容を変更しないもの）

- ・年次報告書の作成（2015 年度年次報告書／年 1 回）
- ・広報誌『えんばわ』の発行（年 4 回：41～44 号）
- ・メールマガジンエファ通信の発行（月 1 回～）
- ・自治労プレスリリース（月 1 回程度）
- ・エファジャパンパンフレット印刷（「認定」表記追加の上増刷）
- ・エファジャパンHP、Facebook ページ等管理・更新
- ・書き損じハガキ募集ポスターの印刷・配布
- ・古本リサイクル募金広報
- ・自治労通信裏面広告

(2) 2016 年度新規

- ・支援者管理に salesforce（クラウドサービス）を導入（非営利団体無料版）
- ・HP をレスポンスデザインに改訂

2. ボランティア

- ・エファボラデー（月 1 回）
- ・ボランティア交流会
- ・デザインボランティア（自治労裏面広告、ポスター、等）

3. 外部企業等との提携による募金・寄付活動

- ・インターネット募金（Yahoo! ネット募金、gooddo）

4. 開発教育

- ・開発教育プログラム制作

以上